

令和9年度県立高等学校入学者選抜における推薦入学者選抜について

2026. 5. 22

1. 令和9年度推薦入学者選抜の変更点

- 令和9年度推薦入学者選抜から、従来の「推薦入学者選抜A」「推薦入学者選抜B」の区分を廃止し、「学校推薦型入学者選抜」と「自己推薦型入学者選抜」の入試区分に改定。
- 大分・別府両市以外の地域の高校（全日制普通科）において、指定地域からの志願者を対象とする「地域活性化枠」を設定した「自己推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要としない）の実施が可能。
- 「学校推薦型入学者選抜」「自己推薦型入学者選抜」ともに、多様な方法で選考できるように学校の状況に応じて適性検査、集団面接等の選抜方法の中から実施が可能。

《変更の趣旨等》

【経緯】「未来創生ビジョン」（R6.3）における「学力だけに拠らず、生徒の個性や適性を多面的に評価する仕組み」及び「通学区域制度検証委員会答申」（R7.5）における「全県一区の課題も踏まえ、新たな仕組みとして特色入試（自己推薦型入試）を講じること」を踏まえたもの。

【期待される効果】

- ・学力に拠らない評価を主とする推薦入試に「地域活性化枠」を導入することで、地元の高校において地域貢献しようとする生徒の意欲を育むことができ、学校及び地域の活性化が期待できる。
- ・多様な方法による選考によって、受験生の資質・能力や中学校段階での諸活動を多面的に評価できる。

2. 令和9年度推薦入学者選抜の概要

(1) 推薦要件等について

- 推薦要件の区分は、令和8年度入試同様、【活動指定あり】【活動指定なし】【志望学科】の3区分。
- 各推薦要件による募集について、令和8年度同様、【活動指定なし】【志望学科】の区分は、その両方または一方を全県立高校の全学科において実施。【活動指定あり】は高校の判断により募集可能。

《推薦要件》

【活動指定あり】高校ごとに指定したスポーツ活動、文化活動に係るもの。

【活動指定なし】スポーツ活動、文化活動、若しくはその他の活動において、アピールできるものを有するもの。ただし、【活動指定あり】の推薦要件を定める高校においては、当該要件で指定したスポーツ活動、文化活動を除く。

【志望学科】志望する学科に係るもの。

(2) 「地域活性化枠」について

（「地域活性化枠」の設定）

- 「地域活性化枠」は、大分・別府両市以外の地域の高校（全日制普通科）において、【活動指定なし】【志望学科】の区分で設定可能とし、設定する場合は、当該区分を「自己推薦型」で実施。「地域活性化枠」を設定しない場合は、「学校推薦型」で実施。

《推薦要件、高校の所在地、入試区分の関係》

	【活動指定あり】	【活動指定なし】	【志望学科】
・大分・別府両市の全日制普通科 ・全日制専門学科・総合学科 ・定時制（爽風館高校を除く）	学校推薦型	学校推薦型	学校推薦型
大分・別府両市以外の全日制普通科	学校推薦型	学校推薦型（「地域活性化枠」を設定しない場合） 自己推薦型（「地域活性化枠」を設定する場合）	

- ・別府翔青高校グローバルコミュニケーション科、大分舞鶴高校理数科、芸術緑丘高校音楽科・美術科の推薦要件については、特に学科の特色に応じた生徒募集を行う観点から、【志望学科】のみ設定するものとする。
- ・爽風館特別入試については、県教育委員会が別に定める。

（「地域活性化枠」の割合）

- 「地域活性化枠」を設定する場合は、地域の実情等を踏まえ、指定地域からの募集人員を【活動指定なし】【志望学科】の区分における募集人員全体の80%以内として、高校ごとに策定。
- 各高校における、「地域活性化枠」の指定地域は次の通り。

《地域活性化枠の対象となる指定地域》

「地域活性化枠」を設定可能な学校（普通科）	指定地域（出身中学校の所在市町村）
中津南高校、中津南高校耶馬溪校、中津北高校	中津市
宇佐高校、安心院高校	宇佐市
高田高校	豊後高田市
国東高校	国東市、姫島村
杵築高校	杵築市、日出町
臼杵高校	臼杵市
津久見高校	津久見市
佐伯鶴城高校	佐伯市
三重総合高校	豊後大野市
竹田高校	竹田市
玖珠美山高校	九重町、玖珠町
日田高校	日田市

- ・由布高校は、由布市内中学校を対象に連携型入試を実施しているため、「地域活性化枠」は設定しない。
- ・安心院高校は、安心院中学校及び院内中学校を対象に連携型入試を実施しているため、両中学校は、安心院高校の「地域活性化枠」の対象外とする。

（「地域活性化枠」を設定する場合の選考方法）

- 【活動指定なし】【志望学科】の選考において、まず、指定地域からの志願者を対象に「地域活性化枠」の募集人員の範囲内で合格内定者を決定。
- 次いで、指定地域以外からの志願者及び「地域活性化枠」で合格内定とならなかった志願者を対象に選考し、推薦要件【活動指定なし】【志望学科】の募集人員の範囲内で合格内定者を決定。
- 指定地域からの志願者が「地域活性化枠」の募集人員を下回る場合は、【活動指定なし】【志望学科】の募集人員の範囲内で、指定地域以外から合格内定者を決定。

(3) 推薦入学者選抜の募集人員

○募集人員は入学定員の以下の範囲で、学校・学科・推薦要件ごとに策定。

《推薦要件、入試区分ごとの各校の募集人員》

学校・学科		【活動指定あり】	【活動指定なし】【志望学科】	
		学校推薦型入試	学校推薦型入試	自己推薦型入試 (「地域活性化枠」設定の場合)
・大分・別府両市の全日制普通科 ・全日制専門学科(全国募集実施校及び実施学科を除く) ・定時制(爽風館高校を除く)		0%~20%	【活動指定あり】とあわせて25%以内	—
大分・別府両市以外の全日制普通科(全国募集実施校を除く)				【活動指定あり】とあわせて40%以内
総合学科			【活動指定あり】とあわせて30%以内	—
全国募集実施校	中津南耶馬溪校(環境・社会共生科)、安心院(普通科)、国東(普通科)		【活動指定あり】とあわせて30%以内	【活動指定あり】とあわせて50%以内
	国東(園芸ビジネス科、環境土木科、電子工業科) 日田林工(林業科)	【活動指定あり】とあわせて40%以内	—	
	久住高原農業	【活動指定あり】とあわせて50%以内	—	
別府翔青(グローバルコミュニケーション科)、大分舞鶴(理数科)、芸術緑丘 〔現行の推薦入試A実施校〕		—	30%~100%	—

・爽風館特別入試については、県教育委員会が別に定める。

(4) 推薦入学者選抜の選考の資料

○学校推薦型、自己推薦型とも、各学校がその実態に応じて、生徒の個性や適性を多面的に評価できるよ
う、次の選考資料のうちから、学校・学科・推薦要件ごとに選択。

○「学力検査」は国数英3教科、検査時間は各教科30分、問題は択一式とし、県教育委員会が問題作成。

《選考資料》

	学校推薦型入試	自己推薦型入試
調査書	○	○
推薦書	○	—
志願理由書	—	○
小論文	○	1つ以上を実施
学力検査	—	
適性検査 (必要に応じて口頭試問、実技、 プレゼンテーションを実施)	△※	
集団討論	1つ以上を実施	1つ以上を実施
集団面接		
個人面接		

○：選抜の資料とする △：必要に応じて実施し、選抜の資料とする —：実施しない

※別府翔青高校グローバルコミュニケーション科、大分舞鶴高校理数科、芸術緑丘高校音楽科・美術科については、特に学科の特色に応じた生徒募集を行う観点から、適性検査を実施するものとする。